

<報道発表：2025年9月16日>

一般社団法人定年後研究所

公益財団法人ニッセイ聖隷健康福祉財団

共同調査「60~70歳代 人生・仕事満足度調査 ～現役社員への教訓を紐解く～

調査報告書

一般社団法人定年後研究所（東京都港区）と公益財団法人ニッセイ聖隷健康福祉財団（大阪市北区）は共同で、これまで十分解明がされていない60~70歳代の仕事や人生への満足度を、定年前後の変化や、働く目的・仕事を決める条件・高齢期の仕事探しの課題、お金・健康・友人・学び・趣味・交流意欲等生活全般との関係など、多様な視点からアンケート調査を実施した。

【調査結果のポイント→インプレッション】

- 仕事満足度と人生満足度は極めて相関関係が強い**
→高齢期においても仕事は人生の質を左右する
- 働く目的が「お金」よりも「社会接点」「周囲への貢献」層の方が、人生満足度は高い**
→仕事の内面的価値を高めることが重要
- 仕事以外にも、金銭的ゆとり・健康・学び・趣味・知らない人の交流・役割意識も人生満足度に影響**
→幅広い視点で人生を充実させることが重要
- 定年前後での仕事満足度の低下が顕著であり、60歳代前半層は仕事・金銭的ゆとり・健康・学び・知らない人の交流・孤独感等あらゆる面で不活性状態**
→セカンドキャリアへの準備層の人生満足度が高いことから、50歳代からの準備取組が必要
- 高齢期の仕事探しのネックは「体力・健康不安」「年齢だけで採用されない」「経験を活かせる仕事が少ない」「魅力的な仕事が少ない」「自分が何が出来るかわからない」など多様にわたる**
→活力ある生涯現役社会を築く上で、年齢に捉われないやりがいある仕事に就くことが重要

<調査概要>

・全国60~79歳男女 有職8割：無職2割 男女5歳刻みでサンプル確保し、2025年4月インターネット調査を実施 有効回答数2312（インテージ・インターネットモニターを使用）

<問合せ先>

一般社団法人定年後研究所 常務理事 池口 武志

電話（直通）090-5536-9266 メール t-ikeguchi@seiwabl.co.jp